

平成16年9月22日公表

平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在における作柄概況

9月10日現在における作柄概況は、各地域の水稻の生育段階に応じて、計測可能な穗数やもみ数等の収量構成要素の実測値を基に、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測したものである。このため、今後の気象条件及び病害虫被害の進行状況により作柄は変動することがある。

調査結果の概要】

- 1 平成16年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は、170万4,000haで、前年産に比べて3万4,000ha（2%）増加した。
- 2 9月10日現在における水稻の作柄は、8月中旬以降相次いで日本に接近、上陸した台風第15、16、18号の影響により北海道、東北及び北陸の日本海側、中国、四国及び九州で被害が発生し、一方、それ以外の地域では生育・登熟がおおむね順調に推移していることから、農業地域別の作況指数（10a当たり平年収量対比）は北陸及び四国が98、北海道、東北及び九州が99、中国が100、東海及び近畿が102、関東・東山が106と見込まれる。

この結果、全国では、作況指数101で、10a当たり収量は528kgが見込まれる。

全国農業地域別作況指数（9月10日現在）



注：沖縄県の作況指数は第一期稻である。

【解説】

1 平成16年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は、170万4,000haで、前年産に比べて3万4,000ha（2%）増加した。

これは、前年産に比べて米の生産目標数量が増加したことや米政策改革により単収の低下を伴う有機栽培等の取組が図られていることなどから、大豆等他作物からの転換や不作付地への作付けがあったためである。

2 9月10日現在における水稻の作柄は、北海道については生育・登熟はおおむね順調であったものの、台風第18号の影響により主産地である空知、上川を中心に脱粒、倒伏等が発生したこと等から、作況指数9.9の10a当たり収量523kgが見込まれる。

東北は、日本海側の地域で日照不足の影響により生育が抑制気味であったことに加え、秋田県及び山形県で台風第15、16、18号の影響により潮風害、倒伏等が発生し、一方、太平洋側の地域では生育・登熟とも良好であったことから、作況指数9.9の548kgが見込まれる。

北陸は、集中豪雨の影響を受けた新潟県及び福井県の一部を除き生育・登熟はおおむね順調であったものの、台風第15号等の影響により新潟県で潮風害、倒伏等が発生したことから、作況指数9.8の520kgが見込まれる。

関東・東山、東海及び近畿は、6月以降気温・日照とも平年を上回って推移しているため、もみ数が総じて平年並みないしやや多く、登熟も良好に推移していることから、関東・東山は作況指数1.06の558kg、東海は1.02の510kg、近畿は1.02の512kgが見込まれる。

中国、四国及び九州は、生育はおおむね順調であったものの、台風第15、16、18号の影響により穂ずれ・もみずれ、倒伏、脱粒、潮風害等が発生したことから、中国は作況指数1.00の515kg、四国は9.8の472kg、九州は9.9の496kgが見込まれる。

この結果、全国では、作況指数1.01の528kgが見込まれる。

平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在の10a当たり（予想）収量・作況指数
(全国農業地域別)

全国農業地域	作付面積 (青刈り面積を含む)	前年産との比較			10a当たり (予想) 収量 kg	10a当たり 平年収量 kg	作況指 指数	単位	
		対 前	差 年	対 比				面 積 : ha 比 : %	
全 国	1 704 000	34 000	102		528	525	101		
北 海 道	120 500	2 600	102		523	528	99		
東 北	441 000	10 700	102		548	555	99		
北 陸	216 600	4 700	102		520	532	98		
関 東・東 山	312 700	7 300	102		558	526	106		
東 海	108 900	600	101		510	499	102		
近 畿	116 200	1 300	101		512	502	102		
中 国	122 600	1 900	102		515	515	100		
四 国	59 400	300	101		472	483	98		
九 州	205 200	4 800	102		496	500	99		
沖 縄	1 100	50	105		362	376	96		

注：沖縄県の10a当たり（予想）収量、10a当たり平年収量及び作況指数は第一期稻である。

【統計表】

1 平成16年産水稻の作付面積（都道府県別）

注：1) 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稻等を含む。

2) 表中の「-」は減少したものを示す。

2 平成16年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月10日現在)

都道府県	出 穗 期						刈取済面積割合		
	始 期	最 盛 期		終 期		最盛期の比較			
		対 年	対 前 年	月 日	月 日	月 日			
北海道	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	%		
青森	7. 29	8. 2	8. 5	6 日早	11 日早		5		
岩手	7. 31	8. 4	8. 9	3 日早	8 日早		0		
宮城	7. 28	8. 2	8. 6	3 日早	11 日早		1		
秋田	8. 1	8. 3	8. 8	3 日早	5 日早		0		
山形	7. 31	8. 3	8. 10	3 日早	8 日早		0		
福島	7. 30	8. 6	8. 13	5 日早	16 日早		0		
茨城	7. 23	7. 30	8. 7	4 日早	11 日早		46		
栃木	7. 24	7. 30	8. 18	6 日早	14 日早		10		
群馬	8. 6	8. 18	8. 26	4 日早	9 日早		2		
埼玉	7. 21	8. 7	8. 25	6 日早	10 日早		30		
千葉	7. 14	7. 23	8. 2	3 日早	9 日早		87		
東京	8. 4	8. 11	8. 21	6 日早	12 日早		0		
神奈川	8. 2	8. 9	8. 16	4 日早	7 日早		1		
新潟	7. 27	8. 4	8. 12	1 日早	7 日早		10		
富山	7. 22	8. 2	8. 7	並み	7 日早		20		
石川	7. 21	7. 29	8. 4	3 日早	6 日早		55		
福井	7. 21	7. 28	8. 2	2 日早	7 日早		77		
山梨	7. 29	8. 8	8. 17	4 日早	8 日早		3		
長野	7. 29	8. 5	8. 11	4 日早	8 日早		2		
岐阜	7. 21	8. 15	8. 30	4 日早	6 日早		19		
静岡	7. 15	8. 11	8. 27	4 日早	7 日早		37		
愛知	7. 21	8. 13	8. 28	5 日早	7 日早		30		
三重	7. 13	7. 20	8. 1	4 日早	10 日早		90		
滋賀	7. 22	7. 27	8. 13	3 日早	12 日早		47		
京都	7. 25	8. 3	8. 17	6 日早	11 日早		41		
大阪	8. 1	8. 20	8. 30	2 日早	4 日早		3		
兵庫	7. 30	8. 11	8. 25	2 日早	4 日早		26		
奈良	7. 29	8. 21	8. 28	2 日早	5 日早		7		
和歌	7. 14	8. 7	8. 23	2 日早	4 日早		24		
鳥取	7. 23	8. 5	8. 17	3 日早	9 日早		7		
島根	7. 18	7. 30	8. 15	5 日早	13 日早		37		
広島	7. 22	8. 18	9. 6	2 日早	5 日早		6		
山口	7. 22	8. 5	8. 19	5 日早	8 日早		22		
福岡	7. 25	8. 7	8. 24	6 日早	10 日早		9		
大分	7. 30	8. 12	7. 25	5 日早	3 日早		100		
宮崎	7. 12	8. 1	8. 23	7 日早	7 日早		49		
鹿児島	7. 22	8. 22	9. 3	1 日遅	並み		30		
高知	7. 13	8. 11	8. 28	4 日早	6 日早		35		
愛媛	6. 20	6. 30	7. 10	4 日早	6 日早		100		
香川	8. 10	8. 18	...	1 日早	6 日早		0		
徳島	早期栽培	7. 3	7. 12	7. 25	5 日早	3 日早	100		
香川	普通栽培	7. 12	8. 1	8. 23	7 日早	7 日早	49		
愛媛	7. 22	8. 22	9. 3	1 日遅	並み		30		
高知	早期栽培	7. 13	8. 11	8. 28	4 日早	6 日早	35		
福岡	普通栽培	6. 20	6. 30	7. 10	4 日早	6 日早	100		
佐賀	8. 10	8. 18	...	1 日早	6 日早		0		
長崎	7. 30	8. 21	9. 2	3 日早	4 日早		14		
熊本	7. 18	8. 23	9. 8	4 日早	4 日早		8		
大分	7. 13	8. 21	9. 5	3 日早	7 日早		16		
宮崎	7. 7	8. 18	9. 1	4 日早	6 日早		8		
鹿児島	7. 28	8. 21	8. 29	4 日早	7 日早		3		
沖縄	早期栽培	6. 16	6. 21	6. 27	5 日早	1 日早	100		
鹿児島	普通栽培	8. 14	8. 21	8. 30	4 日早	5 日早	0		
鹿児島	早期栽培	6. 15	6. 21	7. 2	3 日早	並み	100		
鹿児島	普通栽培	8. 17	8. 23	9. 2	3 日早	3 日早	0		
第一期稻	5.	5.	5. 25	6. 7	1 日遅	1 日遅	100		

注：1) 出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2) 表中の「...」は、9月10日現在において、その期日に達していないことを示す。

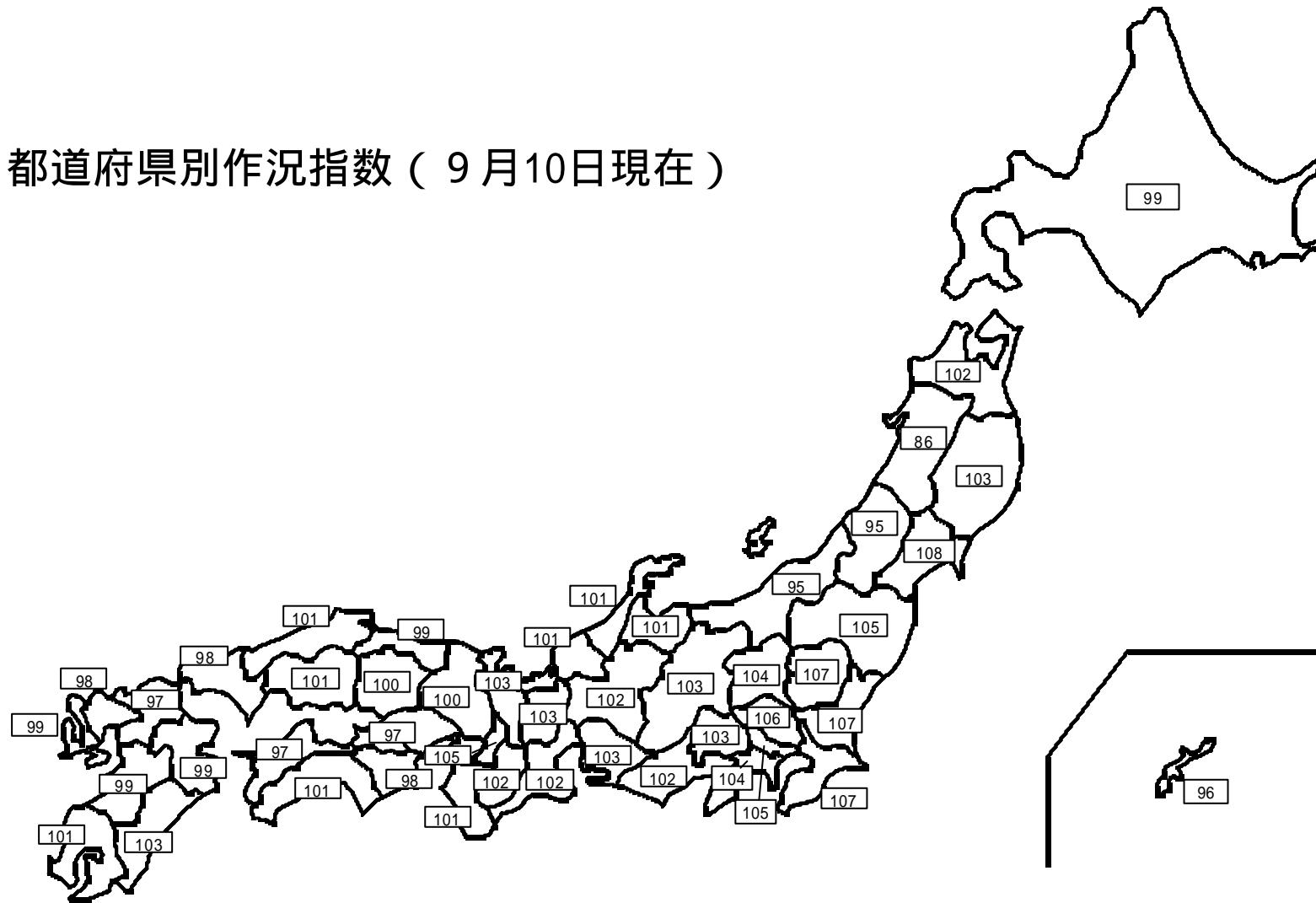
3 平成16年産水稻の10a当たり(予想)収量及び作柄概況(9月10日現在)

都道府県	10a当たり(予想)収量	10a当たり平年収量	作況指数	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数少	登熟の良否
北海道	kg	kg					
青森県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	523	528	99	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良
	591	582	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
	545	531	103	やや少ない	平年並み	やや少ない	良
	564	524	108	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
	493	573	86	少ない	平年並み	少ない	不
	563	593	95	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	557	533	105	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
	547	511	107	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
	567	531	107	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
	510	492	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
	524	493	106	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
	560	522	107	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
	418	398	105	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
	494	474	104	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
新潟県 富山県 石川県 福井県	514	539	95	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良
	537	530	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
	520	516	101	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
	523	516	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
山梨県 長野県	551	535	103	平年並み	やや多い	平年並み	やや良
	635	614	103	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
岐阜県 静岡県 愛知県	493	485	102	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
	530	521	102	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
	515	502	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
	506	494	102	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	529	515	103	少ない	多い	平年並み	やや良
	522	505	103	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
	507	481	105	多い	平年並み	多い	平年並み
	497	497	100	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
	516	505	102	やや多い	平年並み	平年並み	やや良
	493	487	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
鳥取県 島根県 岡山県 広島県	516	522	99	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
	511	505	101	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み
	525	523	100	やや多い	平年並み	平年並み	やや不良
	522	517	101	やや多い	やや多い	多い	やや不良
	495	505	98	多い	やや少ない	平年並み	やや不良
徳島県 香川県 高知県	464	472	98
	460	465	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
	466	477	98	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
	482	499	97	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良
	481	496	97	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
	459	456	101
	489	474	103	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
	415	430	97	やや多い	少ない	やや少ない	やや不良
福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県	484	500	97	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
	517	529	98	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
	468	471	99	多い	やや少ない	やや多い	不
	505	512	99	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
	498	501	99	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
	499	485	103
	500	457	109	やや多い	やや多い	多い	平年並み
	498	506	98	多い	やや少ない	やや多い	不
	483	476	101	良
	458	432	106	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
鹿児島県	492	491	100	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
	362	376	96	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良

注：1) 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別に行つており県平均を取りまとめていないため、「...」で示している。

2) 沖縄県平均の「10a当たり(予想)収量」、「10a当たり平年収量」及び「作況指数」は、第二期稻が出穗前であるため「...」で示している。

都道府県別作況指数（9月10日現在）



注：1)西南暖地の早期栽培の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培、普通栽培をたし合わせたものである。
2)沖縄県の作況指数は第一期稻である。

【参考】

平成16年産水稻の主な地帯別の作況指数（9月10日現在）

道府県 (作況指数)	地帯	作況指数	道府県 (作況指数)	地帯	作況指数	
北海道 (99)	石空 上留 渡檜 後胆 日	狩知川 萌島山 志振高	100 98 95 101 103 104 108 111 107	千葉 (107)	京東 九外 下十九 里房	108 107 107 106
青森 (102)	青津 南部・下北	森輕	102 99 108	新潟 (95)	下越 下中魚 上佐	97 97 93 102 99 64
岩手 (103)	北上川 北上川 東南 下閉 北	上流 下流 南部 伊部	103 102 104 108 107	富山 (101)	東西	101 101
宮城 (108)	南北 中東	部	108 108 108 107	石川 (101)	加能	101 99
秋田 (86)	県 県 県	北 央 南	94 71 94	福井 (101)	嶺嶺	101 101
山形 (95)	村 最置庄	山上 賜内	101 95 102 87	山梨 (103)	国郡	103 104
福島 (105)	中浜会	通通	105 104 104	長野 (103)	東南 中北	105 104 103 101
茨城 (107)	北鹿 南西	部行 部	106 108 107 107	岐阜 (102)	西 中東飛	101 103 103 101
栃木 (107)	北中南	部 部 部	106 109 105	静岡 (102)	東中西	103 102
群馬 (104)	中北東	毛毛毛	103 104 104	愛知 (103)	尾西東	102 103 102
埼玉 (106)	東西	部部	106 106	三重 (102)	北中南伊	103 103 103 100
				滋賀 (103)	湖湖	103 102
				京都 (103)	南北	104 103
					部部	

平成16年産水稻の主な地帯別の作況指数(9月10日現在)(つづき)

道府県 (作況指数)	地帯	作況指数	道府県 (作況指数)	地帯	作況指数
兵庫 (100)	県淡 南北路	100 101 98	佐賀 (98)	佐松 賀浦	97 102
和歌山 (101)	紀紀 北中南	101 101 101	長崎 (99)	西東 県五 壹岐・対馬	100 94 103 105 108
鳥取 (99)	東西 部部	100 98	熊本 (99)	県阿 県天	99 95 99 106
島根 (101)	出石 雲見	100 104	大分 (99)	北湾 大野・直入 南日	96 100 104 103 98
岡山 (100)	南北 中北 部部	99 101	宮崎 (103)	広域 広域 西北 沿海 霧島 山間	107 99 95
広島 (101)	南北 部部	101 101	早期栽培	広域沿海 広域霧島 西北山間	109 109 107
山口 (98)	東西 長 部北	98 97 102	普通栽培	広域沿海 広域霧島 西北山間	99 99 95
徳島 (98)	南北 部部	98 99	鹿児島 (101)	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	102 99 100 104 107
早期栽培	南北 部部	98 99	早期栽培	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	106 103 104 106 107
普通栽培	南北 部部	98 99	普通栽培	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	100 99 100 102 99
愛媛 (97)	東中南 予予予	94 97 100			
高知 (101)	安中幡 芸央多	100 100 102			
早期栽培	安中幡 芸央多	103 103 104			
普通栽培	安中幡 芸央多	94 96 99			
福岡 (97)	福岡 北九州・豊前 筑豊 北筑後 南筑後	98 98 98 96 95			

【利用上の注意】

1 作況指標とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり(予想)収量の比率である。

1 統計表の3において、「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」「登熟の良否」で用いた表示区分は、各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものである。

多 (良 否)	少 (不良)	やや少 (やや不良)	平年並み	やや多 (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95~98%	99~101%	102~105%	106%以上

3 全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所 属 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関 東 ・ 東 山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖 縄	沖縄



連絡先：農林水産省 大臣官房 統計部 生産流通消費統計課
面積統計班 電話（代表）03（3502）8111 内線2828
普通作物統計班 " 内線2831
(直通) 03（3591）4604

この資料は、農林水産省ホームページ【 <http://www.maff.go.jp/> 】
の「施策の動き・情報 >> 統計データ」で御覧いただけます。

水稻作況委員会（第3回）の意見

1 9月10日調査以降の気象の推移・予報等からみた作柄への影響

本年産水稻の作柄は、全般的に気象に恵まれ一部地域を除き豊作基調で推移していたが、前回の調査日である8月15日以降相次いで大型で強い勢力を保った台風が来襲したことから、北海道から九州にかけて台風の進路に近かった日本海側を中心に被害が発生し、とりわけ、秋田県及び山形県の沿岸部並びに佐渡では、戦後では例のない大規模な潮風害により作柄が大きく悪化した。

調査日以降の気象経過は、気温は北日本を除き平年を上回っており、日照も北日本と西日本的一部を除き平年を上回っている。また、気象庁発表の9月18日からの全般1か月予報によれば、気温は北日本と東日本で高く、西日本で平年並み、日照時間は平年並みが多いと予想されている。

このような気象の推移・予報からすると、今後の登熟はおおむね平年並みに推移すると見込まれる。しかしながら、これまで台風により穂ずれ・もみずれ、潮風害、倒伏等の被害が発生した地域では、秋雨前線や今後の台風による倒伏の進行や穂発芽等、遅場地帯では出穂後の高温・寡照による登熟不良の作柄への影響が懸念される。

2 次期の調査に当たって留意すべき事項

次期（10月15日現在）の調査に当たっては、以下の事項が収量に及ぼす影響を適切に反映する必要がある。

特に、潮風害については、通常の標本筆の他に被害調査筆を設置するなどにより、被害の正確な把握に努める必要がある。

- (1) 台風により発生した穂ずれ・もみずれ、潮風害、倒伏等の被害による品質低下やコンバインロス
- (2) 全国的に発生が多くなっているカメムシ類等による着色粒の混入
- (3) 出穂後の高温・寡照の気象経過による乳白粒等登熟障害粒の発生

【参考】

水稻作況委員会委員

(座長) 畑 中 孝	晴	(社)農林水産先端技術産業振興センター理事長
秋 田 重 誠		滋賀県立大学環境科学部教授
石 原 邦		東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科教授
丸 山 幸 夫		筑波大学農林学系作物比較環境農学領域教授
山 川 修 治		日本大学文理学部地球システム科学科教授
近 藤 始 彦		独立行政法人農業技術研究機構作物研究所稻栽培生理研究室長
中 村 祐 三		全国農業協同組合中央会常務理事
古 川 泰 典		全国農業協同組合連合会常務理事
古 橋 政 弘		全国米穀販売事業協同組合常務理事

【問い合わせ先】

農林水産省統計部生産流通消費統計課
課長 野村
(代表)03-3502-8111(内2810)
(直通)03-3501-1012